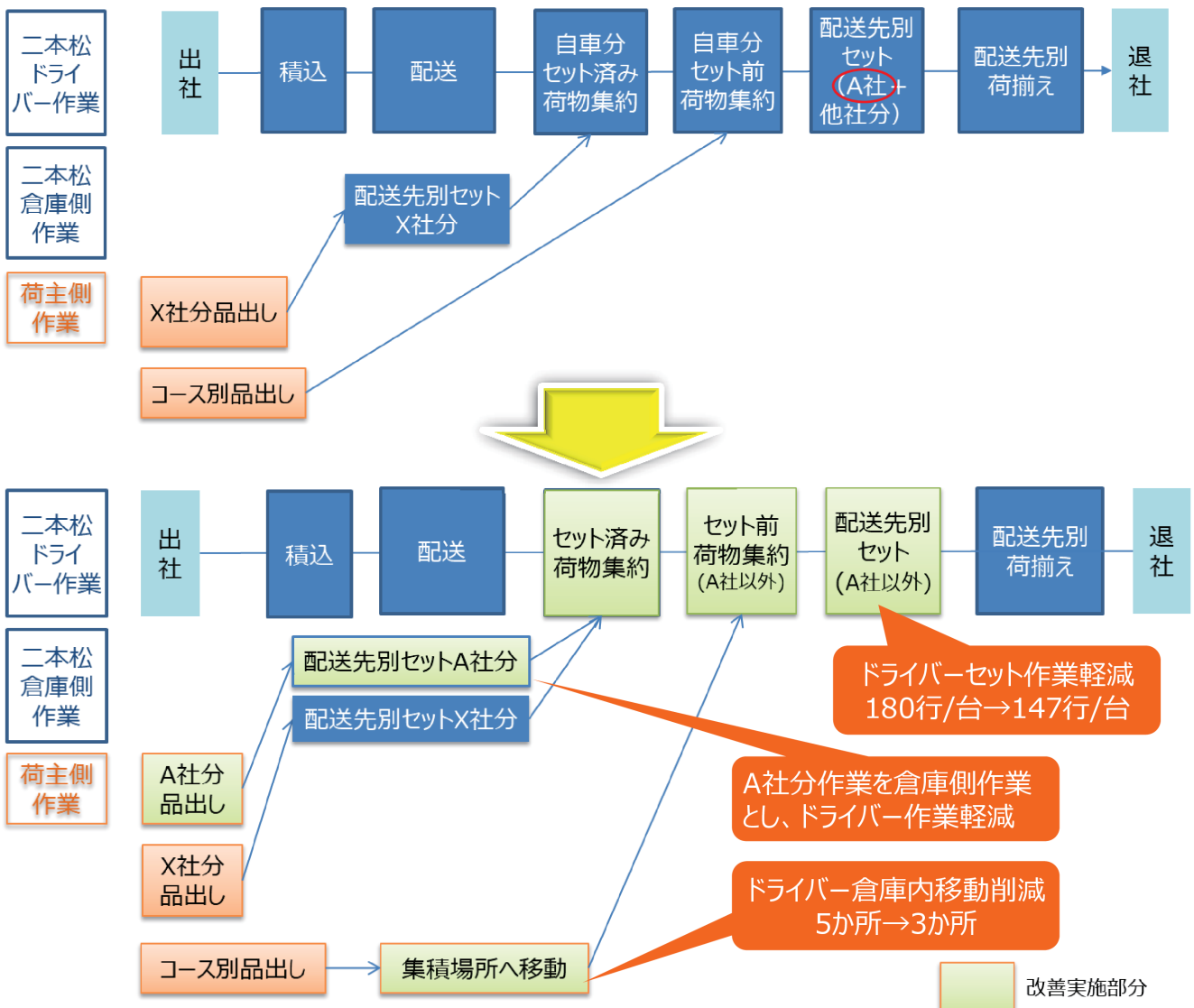


1. 実施者の概要

- 荷主企業 : カナカン株式会社
石川県金沢市に本社のある食料品および酒類卸売業。
- 運送事業者 : 二本松物流株式会社 (本社 : 石川県野々市市)
- 荷種 : 給食事業関連の食品 (冷凍・冷蔵・常温の3温度帯)

2. 事業概要

給食事業の配送業務について改善を実施。改善内容の主な点は、作業量の多い給食事業者の庫内作業について、元から実施していたX社分にプラスしてA社分についてもドライバーから切り離し、倉庫側で行ったこと。ドライバーの荷集めの時間を短縮するため、品出し品の集積場所を設けたこと。



ドライバー 1日あたり勤務時間 **平均 13時間26分 → 12時間55分**
(荷主にとって重要な競争条件である顧客への納品サービス内容の変更なしで勤務時間を短縮)

3. 課題

- ① ドライバーによる帰庫後に行うセット作業の量が多い
- ② 品出しされた荷物をバースに集めるのに時間がかかる
- ③ セット作業の効率が悪い
- ④ 仮置き～移動の都度、積み替え作業が発生している

4. 事業内容

- ① 給食事業者A社の顧客向けの「セット作業」をドライバーから切り離し、倉庫側で行う
- ② ドライバーの帰庫前に上記セット作業が完了するよう、荷主側で行う品出しを「当日→前日」に変更する
- ③ 荷主から顧客に対し、注文の修正期限を「前日→前々日」に変更を依頼し、上記①のセット作業の時間を確保する
- ④ 上記①セット作業を行うための作業者を確保する
- ⑤ 荷集めの時間を短縮するため、ドライバーセット分の品出し集積場所を設ける

5. 結果

	改善前	改善後
ドライバーによるセット作業	1,258行 / 1台あたり	1,027行 / 1台あたり
ドライバー倉庫内移動	5か所	3か所
ドライバー勤務時間	13時間26分	12時間55分

6. 荷主企業のメリット

- ① 後工程の作業のやりやすさを考慮しての庫内作業の改善方法について、気づきを得られた。
- ② 納品について、顧客の要望に対応するばかりでなく、あるべき物流サービスの水準を考えたいうえで注文変更のスケジュールを検討するという手順に移行できた。
- ③ ドライバーの残業代のうち、荷主が負担していた分についてコスト削減できた。

7. 結果に結びついたポイント

- ① 最大のポイントは、荷主側における顧客の要望の調整、庫内作業スケジュール変更、庫内作業方法の変更について、積極的な協力があつたことである。
- ② 荷主の協力を得るためには、ドライバーの長時間労働の実態を正しく知らせることであつた。荷主は問題が発生していることを把握していない場合が多い。物流事業者側から報告すべきと言える。
- ③ 物流事業者側では管理者を投入し、作業方法の変更をスムーズに行うべく、指導・支援を実施した。
- ④ さらなる成果に結びつけるには、ドライバーにおける「作業を短時間で終わらせる動機付け」を行うことが必須である。現行制度では、その努力は収入減に直結してしまう。短時間で仕事を終わらせることにより手当てがもらえる「効率改善手当」を導入した物流事業者の例があり、ドライバーらの意思も確認しつつ、そのような制度の導入も検討していきたい。